

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）

(実施期間：平成 28～33 年度)

代表機関：東京農工大学（総括責任者：大野 弘幸）

共同実施機関：東京外国語大学、国際農林水産業研究センター、首都圏産業活性化協会

取組の概要

■東京農工大学、東京外国語大学、国際農林水産業研究センター、首都圏産業活性化協会が協働し、ネットワーク機関（大学等 7 機関、企業 15 社以上）と連携して、女性研究者の活躍推進を実現する“関東プラットフォーム”を創生する。

■研究機関による先駆的な農学および工学分野の研究がグローバル分野と融合し、女性研究者による国際共同研究（地球規模課題：食料、エネルギー、環境、多言語）を実施、産業界である首都圏産業活性化協会との産学連携により、国際的な研究成果の輩出と研究力向上を図る。

■積極的な女性研究者の採用、養成、幹部登用のために、国際的なダイバーシティ環境・SNS・グループメンター・女性幹部登用ポジティブアクション「1 プラス 1」・ライフイベント支援等を“関東プラットフォーム”で推進する。最終的には本システム改革を牽引・普及して、女性研究者が機関や地域を越えて活躍できる“全国プラットフォーム”を形成する。

(1) 評価結果

総合評価	目標達成度	取組	取組の成果	実施体制	今後の進め方
A	b	a	a	a	a

総合評価：A（所期の計画と同等の取組が行われている）

(2) 評価コメント

関東地域の女性研究者ネットワークとして、国立大学法人、私立大学、研究開発法人、企業等 30 機関が参画する「関東プラットフォーム」を構築するとともに、その全国展開を順調に進め 47 機関が参画する「全国プラットフォーム」を構築したことは評価できる。また、連携機関の女性研究者を研究代表者とし、海外機関の研究者が参画する国際共同研究を支援し、女性研究者の研究力向上、国際的な活躍を図ったことは評価できる。今後は、女性研究者の活躍促進における「関東プラットフォーム」構築の波及効果を高めるとともに、4 連携機関においても女性研究者の在籍比率及び新規採用比率、管理職の女性比率を高め、所期の目標を達成することを期待する。

- ・**目標達成度**：参画機関数の所期目標を達成し、「関東プラットフォーム」の創生を実現したことは評価できる。しかしながら、4 連携機関において、女性研究者の在籍比率及び新規採用比率、管理職の女性比率に係る目標が十分に達成されたとは言い難い。実施期間終了時の目標達成に向け、女性研究者の採用推進策を含め実効性の高い改善策を策定することを期待する。
- ・**取組**：「関東プラットフォーム」の創生及び「全国プラットフォーム」への展開、連携機関の女性研究者を研究代表者とする国際共同研究の支援、多言語対応のホームページの開設やリーフレットの作成による外国籍女性研究者支援体制の構築、産学連携の推進を目的とした「女性研究者シーズ集」の発刊、「女性幹部登用ポジティブアクション「1 プラス 1」」制度等、特色あ

る取組を実施したことは評価できる。

- **取組の成果：**「関東プラットフォーム」及び「全国プラットフォーム」の構築により、女性研究者の活躍促進を目指した広域な機関連携の基盤が整備されたことは評価できる。また、国際共同研究の研究代表者となった女性研究者の研究業績が顕著に向上したことは評価できる。今後は、「女性幹部登用ポジティブアクション「1プラス1」」制度により女性教員が学部長補佐等に就いたことにより、部局運営にどのような効果があったのか検証し、当該制度を実効性の高い制度に育てていくことを期待する。
- **実施体制：**各連携機関に事業を担当する実施母体を設置し、定期的に運営協議会を開催することにより連携して取組を推進した。代表機関に専任のコーディネーターを配置し、代表機関と共同実施機関との連携を円滑にしたこと、外部評価委員会による取組の定期的なフィードバックを踏まえ事業を進めたことは評価できる。
- **今後の進め方：**「関東プラットフォーム」に加え、「全国プラットフォーム」の構築が順調に進んでおり評価できる。今後は、「関東プラットフォーム」構築の実質的な成果を明らかにするとともに、女性研究者の在籍比率及び新規採用比率、管理職の女性比率に係る実施期間終了時の目標の達成を目指し取組を進めることを期待する。